

## 山椒ばらが見られることを期待して 不老山

実施日 2014年5月31日(日)  
 天候 晴れ  
 リーダー 中村 友子  
 参加者 若村貴世子、齋恵美子、友近洋子、佐藤金治、一柳昭、白石恵美子、安田三恵子、小村井好枝、石附智江、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、瀧澤きよの、峯川弘子 計16名  
 費用 1,960円(新宿起算) 計2,880円  
 タイム 駿河小山(9:10~9:35タクシー)明神峠(9:40~10:12)明神山(10:12~10:22)湯船山(10:35~10:50)白クラノ頭(10:50~11:55)サンショウバラの丘(12:35~12:40)世附峠(12:40~13:25)不老山(13:30~15:40)生土(15:40~16:10)駿河小山駅

連日猛暑のニュースが流れており覚悟を決めて臨んだが、嬉しいことに参加者は涼やかな山行ができた。駿河小山駅で予約済みのタクシー(この駅では要予約)に分乗、三国山近くの明



神峠まで一機に登ってしまう。その為登り標高差は少ない。木々の緑は夏に突入か、すっかり色濃くなり足元はフカフカ、南斜面から吹き上げる風は爽やかで、申し分がない。一つ贅沢を言うならば、この季節霞がかかり遠くの山々が霞んでいる。何時も気になる富士山も霞んでいる。

歩き始めからサンショウバラの丘までは木陰の中、ピークを登ったり下ったり快適に進む。



丘手前でサンショウバラ発見。木は

多く古木なのだが、花はいっぱい咲いてはいない。今年は不当りか?少し来るのが遅かった気配もする。

それでも薄ピンクの大きな花が、あちこちにわずかなつぼみと共に見ることが出来た。



丘からは不老山が東側にどっしり構え、まだ先が遠い事を心に刻み昼食を済ませ出立した。

この辺りから空模様が怪しくなってきた。世附峠で思案中の他グループを追い抜き急な道を山頂へと向かった。山頂では更に雷が近づいた模様、写真撮影のみでソクサ下山とした。



幸いに雷も遠のき雨粒にも当たらず、1時間足らず下った所で大休止を取り生土に向かう。舗装道路を30分ほど歩き駿河小山駅到着。松田駅にて解散とした。

今回のコースは歩き易く迷う箇所もなく、気を付ける箇所は生土到着間際の下り階段位で、又歩きごたえがあり楽しかった。何年か後にもっと花盛りの頃再チャレンジしたいと思う。

毎度の事、皆様の協力には感謝の限り。又行きましようね!!

(記・中村 友子)  
(写真提供・伊藤久雄)

